

COVID-19対応個人防護具取り扱いレベル分類表

2022.11.16 更新

エアロゾル発生にて汚染される可能性がある場合

COVID対応
COVID擬似症対応

血液や体液で汚染される可能性がある場合

患者と接する業務中は外来、病棟共にゴーグル・サージカルマスクを着用

入院中の患者
面会者
・検査、治療のため移動
・リハビリ中
・透析中
・OP出し など



- ゴーグル
- サージカルマスク



- 手袋
- ゴーグル
- サージカルマスク



- 袖なしエプロン
- 手袋
- ゴーグル
- サージカルマスク



- 袖ありエプロン
- 手袋
- ゴーグル
- N95マスク Or サージカルマスク



- キャップ
- 長袖ガウン
- 手袋
- ゴーグル
- N95マスク Or サージカルマスク



- フェイスシールド
- キャップ
- 長袖ガウン
- 手袋
- ゴーグル
- N95マスク



・食事介助時等患者がマスクを装着していないときは、フェイスシールドを装着

・患者対応時
・生活指導
・病棟ラウンド
・Vs測定など

・採血
・血管確保など

・おむつ交換・胃瘻・腸瘻の管理
・吐物・排泄物の処理、・透析時の穿刺 抜針
・接触感染予防策対応時

・エアロゾルが発生手技*時はN95を装着
*口腔ケア、気道吸引、ネブライザー療法、誘発採痰、NPPV装着、ハイフロー装着、挿管・抜管、気切術、心肺蘇生、用手換気、など

レベル 0	レベル 1	レベル 2	レベル 3-1	レベル 3-2	レベル 4	レベル 5
入院患者 面会者	血液体液に触れない全ての業務・職種に対応（事務含む）	血液体液に触れる可能性があるが飛散が少なく汚染が衣服に及ばない場合に適応	血液体液に触れる可能性があるが飛散が予想され汚染が衣服に及ぶ場合に適応	レベル3-1に順ずる。 ・隔離解除後個室管理中 ・入院後PCRの結果が出るまで処置内容によって適応 ・院内感染逆PPE対応中、処置内容によって適応	COVID・擬似症患者対応	COVID・擬似症でエアロゾル発生手技時に適応

逆PPE対応：健康観察者と分けて管理する曝露リスクがない患者対応